

CHANDLER LIMITED®



Little Devil Preamp 取扱説明書



www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

消費電流

Little Devil Preamp が 600Ω でロードされ、ユニティーゲインの連続レベルで動作した場合の電流のスペックです。

ラックと電源の仕様をご確認の上、システムにオーバーロードを与えないようご注意ください。

+16V パワーレール = +95ma

-16V パワーレール = -70MA

GAIN - 最大ゲイン 66.5dB です

MIC/LINE- Devil 500 には 3 つの異なる入力タイプがあります。Mic/LINE は、そのうちの 2 つ、トランスフォーマーバランスのマイク入力とライン入力を切り替えます。

本機は単なるマイクプリではありません。プロセッサーのように操る事ができます。

ライン入りに切り替えると、テープや DAW のトラック、バスのサブミックス、ステレオバス全体など、あらゆるラインレベルのソースが処理できるでしょう。

ベースやキーボードなどのアンバランス・ソースの場合は DI 入力を選択します。

LOW/HIGH- マイクとラインの両方の周波数特性に対して、ローインピーダンスまたはハイインピーダンスを選択します。

FEEDBACK/BIAS-

フィードバックとバイアスの動作について。プリメインアンプに可変負帰還機能を搭載したウェイドゴーク氏の傑作デザイン Germanium Preamp の設計をさらに一歩進めて、フィードバックと同時にゲインステージのバイアスを変更できるようにしたいと考えました。

フィードバック/バイアス・コントロールを使用することで、プリメインアンプのサウンドのあらゆるパラメータを変更することができます。ハイとローの周波数特性、高調波歪み、クリッピングの性質、そしてプリアンプの全体的な音色の特徴を変えることができます。例えば、フィードバックを最大にした場合の音は“gushy”です。ソフトクリップが早くなり、高調波が指数関数的に増加し、高周

波がわずかに増加し、ユニットが非常に高電圧の「オーバーバイアス」クラス A の性格を帯びるようになります。

フィードバックコントロールを低くすると、非常に色彩豊かな、しかしより「おとなしい」サウンドが得られます。ハーモニクスは非常に低く（0.007%の範囲）、ノイズはこのユニットで可能な限り低く、-93db の領域です。この音は、正確でありながら興味深い色彩を持つクラス A サウンドと言えるでしょう。

Feedback/Gain を中央付近に設定すると、最もヘッドルームが広くなり、マイクプリの最も典型的な動作と見なせるようになります。

すべてのパラメータは、クラス A スタイルのマイクプリの標準になる傾向があります。このプリは、私たちが求める素晴らしい音色を常に持っています。

フィードバックに関する注意事項

ハウリングを完全に停止させると、あまりレベルが出ません。これはフィードバックの性質です。

フィードバックが大きい=ゲインも小さい。この方法で得られるサウンドは非常に特殊なので、このようにしたかったのです。例えば、フィードバックが大きい場合（コントロールがオフ、または反時計回り）、歪みはほとんど得られません。

歪みも少なく、ノイズも少ない。また、ドラムやギターなど大音量のソースを録音する際に、ゲインをほとんど上げずに使用することも可能です。

コントロールオフまたは反時計回り- フィードバックが多く、ゲインは低い。

コントロール・フルまたは時計回り：ハウリングは非常に少なく、ゲインは高い。

OUTPUT

ミキシングコンソールのフェーダーのような役割を果たし、プリの信号をトリミングしたり、入力信号を様々に変化させます。この機能を持つすべてのマイクプリは、信号を下げるとプリのヘッドルームが減少します。

この機能を持つ全てのマイクプリは、信号を下げるとリアンプのヘッドルームが減少しますが、低ノイズオーバーという利点があります。デビル・プリはドライブを好むので、ぜひ試してみてください。

BRIGHT

出力トランスの高域を増加させ、ダンピングを減少させます。

このプリメインアンプは元々ブライートを設定した状態で設計されていましたが、連続動作させるにはブライートすぎるという判断がなされたことは興味深いことです。

ローカット

100Hz で緩やかに傾斜したローカット。アコースティックギターやボイスなどの楽器に必要なチューニングを施しています。

DI-

ギター、ベース、キーボードなどのアンバランス・ダイレクトインプットです。入力トランスをバイパスし、プリメインアンプのクラス A 入力に直接接続します。多くの製品でこの方式を採用しています。Gain と Feedback/Bias が最大もしくはそれに近い状態で DI を発振させることは可能です。この場合、プリアンプの音色が変わってしまうので、補正はしていません。標準的なマイク入力やライン入力では、発振させることはできません。

48v-

48V のファンタム電源です。...

PHASE

出力トランスでユニットの出力極性を反転させます。